

# 花の夕ネから潤滑剤？

ムラサキハナナに優れた特性

ムラサキハナナの種 開発の手がかりとなる  
子には新たな潤滑剤の 特殊な成分が含まれて



いることがわかったと、中国・華中農業大学などの国際研究グループが科学誌『ネイチャー・プランツ』（27日付）に発表しました。

ムラサキハナナは、薄紫色の花を咲かせる中国原産のアブラナ科の植物です。

研究グループは、実験でムラサキハナナの種子油が摩擦と摩擦の減少に優れた性質を持ち、高温での使用に耐えられることを確認しました。石油からつくられている潤滑油を植物からつくることで、できるようになれば、環境にもいい効果が期待できるといいます。

研究グループのロバート・ミント博士は「この植物には珍しい化合物はないと思ったので、これは偶然の発見だった」と説明しています。